

一般財団法人いばらき盲導犬協会 令和4年度事業報告書

1. 訓練業務／認定業務

以下の業務は、本法人の本来の業務（盲導犬育成）としておこなったものである。

1.1 候補犬の確保（繁殖・譲受・購入）

自家繁殖により8頭が誕生、他団体より3頭を譲受、5頭を購入し、合計16頭の盲導犬候補犬を新規に確保した。

1.2 研修会・訪問指導

仔犬飼育ボランティアを対象とした合同研修会「しつけ教室」を7回開催。各家庭を訪問しての個別指導を42回おこなった。

1.3 犬の訓練（基本訓練、誘導訓練）及び飼育（通院等の健康管理を含む）

13頭の犬に対して、盲導犬の候補犬としての飼育、及び訓練をおこなった。そのうち4頭を盲導犬として認定、6頭をキャリアチェンジ犬として譲渡した。他の3頭のうち1頭を繁殖犬として確保、2頭については引き続き次年度に訓練をおこなう。

1.4 フォローアップ

盲導犬使用者全員に対して現地での定期フォローアップをおこなった（7頭に対し合計11回）。また、非定期の現地フォローアップを1頭に対して1回、電話フォローアップを1頭に対して1回おこなった。

1.5 共同訓練・認定

視覚障害者4名について共同訓練をおこない、4頭を盲導犬として認定した（東京都、茨城県、千葉県、埼玉県）。このうち3頭が公的委託事業であった。また、4名のうち1名は初めて盲導犬を使用する「新規」であった。

1.6 返還

本年度以前に認定された盲導犬のうち、2頭が返還された。1頭は引退年齢を迎えたため、他の1頭は使用者の体調不良のため返還となった。

一覧：保有犬の訓練／新規確保の状況（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

訓練した犬			確保した犬		
13			16		
盲導犬認定	進路変更（譲渡）	訓練継続／他	繁殖	譲受	購入
4	6	3	8	3	5

一覧：保有犬の状況（令和5年3月31日現在）

盲導犬	訓練犬	繁殖犬	広報犬	仔犬	合計
7	4	2	4	11	28

2. 広報啓発業務

以下の業務は、日本における盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業に対して社会の理解を求める目的でおこなったものである。

2.1 学習会・見学会の開催

一般の希望者を募り、定期的に施設内で開催している学習会・見学会について、本年度はコロナウイルスの感染拡大防止、ならびに人手不足に鑑み、開催を見合わせた（0回）。

2.2 出張講話・デモンストレーション

視覚障害と盲導犬についての講話（一部、実演を含む）を、依頼を受けて15回おこなった（企業、社会福祉協議会、小学校、高等学校、動物専門学校、教育委員会）。講話の主な対象者は次のようであった：小中学生と保護者、高校生、専門学校の学生、新入社員、公共施設職員、教員、福祉に関心を寄せる成人（なお、依頼を受けたもののコロナ禍を理由にキャンセルされた講話が4回あった）

2.3 イベント参加

企業や団体が開催するイベントに職員、役員、広報犬が参加し、広報啓発活動を展開した（4回）。主な参加先は次のようである：県内の公益法人が主催する地域のイベント、視覚障害者協会の主催するイベント、ライオンズクラブの主催するイベント

2.4 イベントの開催

本法人が主体となり、視覚障害と盲導犬に関する啓発を主たる目的としたイベントを次のように開催した。

2.4.1 盲導犬写真パネル展示（令和4年7月1日～8日／対象：約1500人）

ひたちなか市障害福祉課の協力のもと、ひたちなか市役所にて「盲導犬の一生」や「盲導犬の訓練」をテーマとした写真パネルの展示をおこない、市職員や来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。

2.4.2 盲導犬写真パネル展示（令和4年7月27日～8月2日／対象：2500人）

株式会社水戸京成百貨店の協力のもと、同百貨店の催事場に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。

2.4.3 盲導犬の講話とコンサートのイベント（令和4年11月11日／対象：100名）

赤い羽根歳末たすけあい募金の助成を受け、盲導犬と視覚障害者に対する理解を促すイベントをひたちなか市文化会館にて開催した。イベント前半では来場者向けに盲導犬の概要をわかりやすく説明、後半では視覚障害者の演奏家（ご夫妻）によるコンサートをおこなった。

2.4.4 盲導犬写真パネル展示（令和4年11月24日～11月28日／対象：不特定多数）

ひたちなか市の商業施設、ニューポートひたちなかファッションクルーズの協力のもと、本館2階に盲導犬に関する写真を大判パネルで展示し、来店者の方々に盲導犬育成事業に関心を持ってもらえるよう務めた。また、11月26日には施設関係者向けに盲導犬の訓練のデモンストレーションをおこない、施設内での訓練に理解を求めた。

2.4.5 盲導犬写真パネル展示（令和4年11月30日～12月25日／対象：約1000人）

ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社の協力のもと、ひたちなか市勤労者総合福祉センターにて盲導犬に関する写真パネルの展示をおこない、来所者の方々に盲導犬育成事業について関心を持ってもらえるよう努めた。また、本催しの一環として12月11日には視覚障害者の演奏家（ご夫妻）のコンサートを会場で開催した。

なお、以上に展示した写真は全て MOON LIGHT 小沼渉写真事務所（水戸市）が撮影し無償提供。

2.5 支援団体との共同活動

ボランティアグループ・ローリー（本法人の支援ボランティアグループ）、特定非営利活動法人チーム・ユーチャリス、東海ライオンズクラブの活動へ職員、役員、広報犬を派遣し、共同で盲導犬普及啓発活動と募金活動をおこなった：京成百貨店 132 回、トモニーつくば店 26 回、イオン東海店 12 回、東海村役場 12 回、その他 32 回

2.6 資料配布

上述した機会において、日本の盲導犬育成事業全般、ならびに本法人の盲導犬育成事業の概要をまとめた資料「配布用資料」（年度内増刷無し）、並びに本資料の要点を抜粋した栞サイズのチラシ（年度内 7500 部印刷）を配布し、盲導犬育成事業への社会の理解がより深まるよう務めた。

3. 財源強化充実のための取り組み

広報活動を通じて個人、団体、企業へ支援の働きかけをおこなう他、安定した運営資金を確保するため募金活動を頻回におこなうように努めた。支援団体と共同でおこなった街頭募金活動は合計で 214 回となった（2.5 参照）。

4. 寄附金の使途報告

ここでは令和4年度の寄付金・助成金のうち、具体的な使途の報告が条件であった寄附金・助成金について、その金額と使途について報告する。

- ・ かすみがうらマラソン大会実行委員会からの寄附金 (255,600 円)

使途：盲導犬候補犬3頭を確保するために要した300,000円の大部分に充当した。

5. その他

5.1 理事会・評議員会の開催

理事会		評議員会	
第1回	令和3年6月14日(火)	定時	令和3年6月14日(火)
第2回	令和4年3月14日(火)		
開催場所：本法人の主たる事務所			

5.2 人事・陣容

5.2.1 研修生の募集

ホームページを通して研修生の募集をおこない、複数人に対し面談をおこなった(採用なし)。

5.2.2 役員改選

役員の任期満了にともない、定時評議員会は柏正雄(重任)、斉藤つぎ(重任)、下路健次郎(就任)清水立雄(重任)、松澤諭(重任)を理事に、大作幸恵(重任)を監事に選出した。理事会は斉藤つぎ、ならびに下路健次郎を代表理事に選定し、代表理事を2名とした。

5.3 主たる事務所の所在地の変更

本法人の主たる事務所の所在地を6月14日付で次のように変更した：

【変更前】茨城県ひたちなか市東石川3444番地7

【変更後】茨城県ひたちなか市東石川3610番地10

5.4 他団体主催の行事等への参加(広報啓発業務以外)

助成金、目録等の受け取りや自己紹介、挨拶をおこなう目的で、ライオンズクラブの周年記念や例会、仏寺主催の法事等、他団体の主催する行事に職員や役員、広報犬が参加した。

5.5 付属明細書

本報告書に補足すべき重要な事項はないため、付属明細書は作成しない。

以上、令和5年5月30日、理事会にて承認、同6月20日、評議員会にて報告